

**The 30th Annual Meeting of
The Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics**

プログラム
12月3日(木)

12月3日(木)

第1会場(1Fメインホール)

9:00~11:00 シンポジウム1

S1 「Global Study での臨床薬理学の貢献

—世界同時開発(申請)に向けてのPhase1試験とPhase2試験の位置付け—

座長: 大橋 京一(大分大学医学部附属病院臨床薬理センター)

熊谷 雄治(北里大学東病院治験管理センター)

S1-1 早期臨床試験の歴史的経緯

馬屋原 宏(株式会社国際医薬品臨床開発研究所)

S1-2 新たな薬物動態検討ツールとしてのマイクロドーズ試験

杉山 雄一(東京大学大学院薬学系研究科)

S1-3 PETを用いた早期臨床試験

須原 哲也(放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター)

S1-4 How can we extrapolate PK/PD data of early clinical trials into later phase trials

Stanford Jhee (California Clinical Trials and PAREXEL International)

S1-5 グローバル開発における早期臨床開発の位置づけとわが国が直面する問題

上村 尚人(大分大学医学部創薬育薬医学)

11:00~11:50 特別講演1

SL1 「グローバル化時代における新薬開発の未来」

講演: 庄田 隆(日本製薬工業協会)

座長: 戸塚 恭一(東京女子医科大学感染対策部感染症科)

13:10~15:10 シンポジウム4

S4 「国際共同治験の現状と課題」

座長: 景山 茂(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター薬物治療学研究室)

竹内 正弘(北里大学薬学部臨床医学(臨床統計学・医薬開発学))

S4-1 国際共同治験の実態

成川 衛(北里大学大学院薬学研究科臨床医学(医薬開発学))

S4-2 PMDA から見た国際共同治験の実態

宇山 佳明(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

S4-3 外資系製薬企業からみた国際共同治験の実態

岩崎 甫(グラクソ・スミスクライン株式会社開発本部)

S4-4 内資系製薬企業からみた国際共同治験の実態

和田 康平(第一三共株式会社アジア開発部)

S4-5 抗がん剤の国際共同治験の実態

藤原 康弘(国立がんセンター中央病院)

15:10~15:30 厚生労働科学研究事業説明会「臨床研究の推進に向けた厚生労働省の取組み」

THUR

3

12月3日(木)

第2会場(第2会場(5F 501+502))

9:00~11:00 シンポジウム2

S2 「臨床試験の精度を高めるプロトコールとCRF」

座長：野元 正弘(愛媛大学大学院医学系研究科病態治療内科)

山田 浩(静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学分野)

- S2-1 GCPの信頼性調査を実施する規制側の観点から
加藤 祐一(独立行政法人医薬品医療機器総合機構信頼性保証部)
- S2-2 国際共同治験のプロトコールについて
中村 哲也(群馬大学医学部附属病院臨床試験部)
- S2-3 信頼性の高いデータを収集するためのプロトコールとCRF —医療機関の立場から—
山崎知恵子(愛媛大学医学部附属病院創薬・育薬センター)
- S2-4 臨床試験の精度を高めるプロトコールとCRF —製薬企業の立場から—
岩崎 幸司(武田薬品工業株式会社)
- S2-5 プロトコールの精度を高めるためのCRFデザイン(EDCも含む);CROの立場から
菊田 貞雄(株式会社アスクレップ)

13:10~15:10 シンポジウム5

S5 「薬物の有害事象・副作用の収集・評価方法などの問題点」

座長：堀 誠治(東京慈恵会医科大学薬理学講座)

井草 千鶴(町田市民病院治験支援室)

- S5-1 イントロダクション
堀 誠治(東京慈恵会医科大学薬理講座)
- S5-2 安全性評価を見る立場から ~IRB委員などの立場から~
堀 誠治(東京慈恵会医科大学薬理講座)
追加発言：臨床現場に正しい評価をさせるには
井草 千鶴(町田市民病院治験支援室)
- S5-3 安全性情報を評価する立場から ~メーカーの立場から~
伊藤 真紀(塩野義製薬株式会社医薬品評価部門)
- S5-4 安全性情報を確認・整理する立場から
佐藤 淳子(医薬品医療機器総合機構安全性第2部)
- S5-5 総合討論(事象検討を中心に)
司会：井草 千鶴(町田市民病院治験支援室)

THUR

3

12月3日(木)

第3会場(5F 小ホール)

9:00~11:00 ワークショップ1

W1 「臨床試験とバイオマーカー」

座長：渡邊 裕司(浜松医科大学臨床薬理学)

植田真一郎(琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学分野)

- W1-1 バイオマーカーの意義とその利用
渡邊 裕司(浜松医科大学臨床薬理学)
- W1-2 動脈硬化性疾患のバイオマーカー
植田真一郎(琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学分野)
- W1-3 がん分子標的治療のバイオマーカー
西尾 和人(近畿大学医学部ゲノム生物学教室)
- W1-4 脳神経疾患におけるバイオマーカー
岡村 信行(東北大学大学院医学系研究科機能薬理学)
- W1-5 製薬企業におけるバイオマーカーの活用
劉 世玉(武田薬品工業株式会社医薬開発本部日本開発センター統計解析部)

13:10~15:10 ワークショップ2

W2 「ジェネリック医薬品：多様化する選択肢の中でどう選ぶか」

座長：檜垣 實男(愛媛大学大学院病態情報内科学・第2内科)

政田 幹夫(福井大学医学部附属病院薬剤部)

- W2-1 医療現場における後発医薬品採用の立場から
荒木 博陽(愛媛大学医学部附属病院)
- W2-2 製剤学的見知から医薬品の品質を評価する
内田 享弘(武庫川女子大学薬学部臨床製剤学講座)
- W2-3 患者アンケートによる患者の立場から見た後発品の考察
山梨 宗治(特定非営利活動法人全国精神障害者ネットワーク協議会調査研究所)
- W2-4 医師の立場から見た後発医薬品
櫻井 秀也(茅場町共同ビルクリニック)
- W2-5 ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動について
川西 徹(国立医薬品食品衛生研究所)
- W2-6 追加発言：後発医薬品適正使用のために
政田 幹夫(福井大学医学部附属病院薬剤部)

THUR

3

12月3日(木)

第4会場(3F 303)

9:00~10:00 教育講演1

EL1「がん領域における分子標的療法の現状」

講演: 佐々木康綱 (埼玉医科大学国際医療センター包括的がんセンター腫瘍内科)

座長: 東 純一 (兵庫医療大学薬学部)

THUR

3

10:00~11:00 教育講演2

EL2「副作用の個人差と遺伝子多型」

講演: 千葉 寛 (千葉大学大学院薬学研究院)

座長: 乾 賢一 (京都大学医学部附属病院薬剤部)

12:00~13:00 ランチョンセミナー1

LS1「抗菌薬投与法はどのように変わってきたか ~PK-PDをふまえて~」

講演: 堀 誠治 (東京慈恵会医科大学薬理学講座)

座長: 清水喜八郎 (河北総合病院)

共催: 第一三共株式会社

13:10~14:10 教育講演3

EL3「PK/PD理論の新展開」

講演: 谷川原祐介 (慶應義塾大学医学部臨床薬剤学)

座長: 樋口 駿 (九州大学大学院薬学研究院臨床薬学部門)

14:10~15:10 教育講演4

EL4「Warfarin療法の実際」

座長: 猿田 享男 (慶應義塾大学)

EL4-1 「Warfarin療法の実際(基礎)」

講演: 高橋 晴美 (明治薬科大学薬剤学)

EL4-2 「Warfarin療法の実際(臨床)」

講演: 上塚 芳郎 (東京女子医科大学医学部循環器内科)

12月3日(木)

第5会場(3F 304)

9:00~11:00 シンポジウム3

S3 「GSK-3 シグナル伝達経路を標的とする治療薬・診断法の開発」

座長：笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）
丸 義朗（東京女子医科大学医学部薬理学）

- S3-1 GSK-3 を介するシグナル伝達と細胞機能制御
菊池 章（広島大学大学院医歯薬学総合研究科・分子細胞情報学）
- S3-2 心筋保護機構における GSK-3 β の役割
三浦 哲嗣（札幌医科大学医学部内科学第二講座）
- S3-3 抗悪性腫瘍薬としての Wnt/ β -カテニン経路阻害薬
高橋 富美（九州大学大学院医学研究院臨床薬理学分野）
- S3-4 骨再生を目指した Wnt シグナル伝達経路活性化薬の可能性
松崎英津子（九州大学大学院歯学研究院歯周疾患制御学分野）
- S3-5 治療薬の標的分子としての GSK-3 β
和田 明彦（宮崎大学医学部機能制御学講座薬理学分野）

13:10~15:10 シンポジウム6

S6 「ゲノム創薬の最新動向と展望」

座長：古田 隆久（浜松医科大学臨床研究管理センター）
安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）

- S6-1 免疫抑制剤におけるファルマコゲノミクスの活用
中谷 中（三重大学医学部附属病院オーダーメイド医療部）
- S6-2 クロピドグレルの血小板凝集抑制作用に対する PPI 併用の影響は CYP2C19 遺伝子多型により異なる
梅村 和夫（浜松医科大学薬理学／同大学臨床研究管理センター）
- S6-3 薬物治療個別適正化に遺伝子診断が有用であった例と病院でのエビデンス構築の試み
有吉 範高（千葉大学医学部附属病院薬剤部・臨床試験部）
- S6-4 オキサリプラチンによる末梢神経障害と遺伝子多型
稲田めぐみ（名古屋大学医学部附属病院化学療法部）
- S6-5 新規遺伝子検査システムの開発
氏内 圭一（東洋紡績株式会社敦賀バイオ研究所）
- S6-6 日本臨床薬理学会 ファーマコゲノミクスに関わるガイドライン作成の趣旨
植田真一郎（日本臨床薬理学会ゲノム委員会／琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学分野）
- S6-7 特別発言
東 純一（兵庫医療大学薬学部）

THUR

3

12月3日 (木)

第 6 会場 (4F 411+412)

12:00~13:00 ランチョンセミナー 2

LS2 「トシリズマブの誕生物語 ~免疫難病の謎に迫る~」

講演：大杉 義征 (中外製薬株式会社学術情報部)

座長：木村 利美 (東京女子医科大学病院薬剤部)

共催：中外製薬株式会社

THUR

3

12月3日(木)

ポスター会場 (3F ラウンジ・311~314, 4F 414~417)

THUR

3

治験／製造販売後臨床試験-1 座長：内田 直樹 (昭和大学医学部第二薬理学教室)

- 1P-01 治験活性化5ヵ年計画拠点医療機関である東京女子医科大学病院におけるSMOの役割
武藤 菜穂 (株式会社あすも臨床薬理研究所)
- 1P-02 治験審査委員会の会議の記録の公表に対する取り組み
山田 正紀 (済生会福岡総合病院薬剤部)
- 1P-03 治験スケジュールに応じた臨床試験経費ポイント算出表の作成
青木 敦 (東京大学医学部附属病院臨床試験部)
- 1P-04 被験者募集手段における院外広告の有用性に関する検討
松下 久美 (菊川市立総合病院治験管理室／菊川市立総合病院薬剤科)
- 1P-05 臨床試験の症例登録は一部の参加医師により大部分がなされるのか? : CASE-J 試験によるパレートの法則の検証
大江 陽子 (京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター)
- 1P-06 新潟大学医歯学総合病院におけるIRB議事概要公表について —公表内容連絡票の活用—
萩原美枝子 (新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センターちけんセンター部門／新潟大学医歯学総合病院薬剤部)
- 1P-07 静岡県治験ネットワーク参加医療機関において実施する治験情報の公開について
渡邊 充洋 (財団法人しずおか産業創造機構ファルマバレーセンター)

治験／製造販売後臨床試験-2 座長：花岡 英紀 (千葉大学医学部附属病院臨床試験部)

- 1P-08 国際共同治験のための治験専用検体処理保管室の整備
中村 哲也 (群馬大学医学部附属病院臨床試験部)
- 1P-09 アジア地域における国際共同試験の現状と動向
室山総一郎 (北里大学大学院薬学研究科臨床医学 (医薬開発学))
- 1P-10 国際共同治験経験 (ICCC) に基づく日本の治験の方向性
足達 聡 (クインタイルズトランスナショナルジャパン株式会社)
- 1P-11 国際共同治験における日本人症例数の検討 —ブリッジング試験との比較—
城谷 真理 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構信頼性保証部信頼性第二課)
- 1P-12 国際共同治験におけるモニターと施設のあり方
金子信太郎 (クインタイルズトランスナショナルジャパン株式会社グローバル統括部クオリティマネジメント)
- 1P-13 当院における国際共同治験への取り組みについて
山口るみ子 (独立行政法人国立病院機構長崎医療センター治験管理室)
- 1P-14 国立病院機構熊本医療センターにおける国際共同治験の実施体制の構築について
林 淳一郎 (独立行政法人国立病院機構熊本医療センター治験センター)

治験／製造販売後臨床試験-3 座長：神谷 晃 (山口大学医学部附属病院薬剤部)

- 1P-15 当院における治験薬管理の実態調査
江口 久恵 (独立行政法人国立病院機構四国がんセンター)
- 1P-16 地方病院における臨床研究支援への取り組み (第1報) —臨床研究支援センターの設置と業務内容—
中西 志子 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院臨床研究支援センター／同病院薬剤部)

- 1P-17 治験中核病院としての治験実績とその取り組み
片山加奈子(千葉大学医学部附属病院臨床試験部)
- 1P-18 慶應義塾大学における臨床研究・治験の基盤整備と改善の現況
神山 圭介(慶應義塾大学医学部クリニカルリサーチセンター)
- 1P-19 非盲験スタッフ(治験薬調整スタッフ)が必要な治験の問題点
舟橋 恵子(松原メイフラワー病院治験部)
- 1P-20 名大病院化学療法部における第一相臨床試験の現状
村崎 由佳(名古屋大学医学部附属病院化学療法部)
- 1P-21 大学病院における早期臨床試験施設と地域ネットワークを活用した患者対象第I相試験の取り組み
時松 一成(大分大学医学部附属病院呼吸器内科)

自主臨床試験-1 座長:志賀 剛(東京女子医科大学循環器内科)

- 1P-22 健常ボランティアの低用量アスピリン起因胃粘膜障害に対する Famotidine 40 mg と Rabeprazole 10 mg の予防効果と酸分泌抑制との関係の検討
西野 真史(浜松医科大学第一内科)
- 1P-23 心不全患者へのカルベジロール導入時の交感神経活性の検討
武智 茂(総合病院伊達赤十字病院循環器科)
- 1P-24 ロスバスタチン 2.5 mg 投与で LDL-C が 100 mg/dL 未満とならなかった虚血性心疾患症例に対する同剤の 5 mg への増量とエゼチミブ 10 mg 追加投与の効果の比較
佐久間一郎(社会医療法人社団カレスサッポロ北光記念クリニック)
- 1P-25 シンバスタチン製剤のジェネリック薬変更前後における有効性及び安全性の検討
岸本 憲明(北海道医療大学病院循環器内科)
- 1P-26 抗不安薬ジアゼパムの精神ストレス(CWT)に対する作用
坂井 一明(新潟大学大学院医歯学総合研究科(医学部)薬理学分野)
- 1P-27 腸管 GVHD 患者におけるジプロピオン酸ベクロメタゾン腸溶性カプセル剤の調製と臨床評価
村川 公央(岡山大学病院三朝医療センター薬剤室)
- 1P-28 若い世代を対象とした治験・臨床研究の啓発活動
進藤 哲(千葉大学医学部附属病院臨床試験部)
- 1P-29 大学病院での臨床研究基盤整備における第三者評価機関設置の効果と課題
進藤 哲(千葉大学医学部附属病院臨床試験部)

ゲノム薬理学 座長:大谷 壽一(慶應義塾大学薬学部臨床薬学講座)

- 1P-30 フレカイニドの体内動態におよぼす加齢と CYP2D6 遺伝子多型の影響
土岐 浩介(筑波大学附属病院薬剤部/筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 1P-31 全身性麻酔薬プロポフォールの肝代謝消失と薬物代謝酵素遺伝子多型の関連性
山崎 浩史(昭和薬科大学薬物動態学)
- 1P-32 SCN5A プロモーターハプロタイプがフレカイニドの効果に及ぼす影響
本間 真人(筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床薬剤学)
- 1P-33 SSRI・SNRI による消化器症状と、遺伝子多型との関連
三浦 淳(室蘭工業大学保健管理センター/弘前大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

12月3日(木)

ポスター会場 (3F ラウンジ・311~314, 4F 414~417)

THUR

3

- 1P-34 Differentiation-inducing factor-1 は VEGFR2 の発現を低下させることにより血管新生を阻害する
吉原 達也 (九州大学大学院医学研究院臨床薬理学分野/九州大学大学院医学研究院麻酔蘇生学)
- 1P-35 代謝拮抗薬ネララビン耐性培養白血病細胞の樹立と耐性機序の検討
山内 高弘 (福井大学医学部血液腫瘍内科)
- 1P-36 日本人小腸における薬物代謝酵素 CYP3A5 mRNA 発現に及ぼす遺伝子多型 (*3) の影響
竹ノ下(中谷)祥子 (聖マリアンナ医科大学薬理学)
- 1P-37 抗てんかん薬クロバザム及び活性代謝物 N-デスメチルクロバザム体内動態の母集団解析とファーマコゲノミクス
柴田 茉衣 (京都大学大学院薬学研究科)
- 1P-38 Effect of basic fibroblast growth factor (FGF2) gene polymorphisms on SSRIs treatment response and side effects
加藤 正樹 (関西医科大学精神神経科/大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学)

遺伝子多型-1 座長：藤尾 慈 (大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学分野)

- 1P-39 「試薬・チップ一体型全自動 SNP 解析システム」と「薬剤投与支援システム」を利用したワルファリン維持量予測の検討
清水 悦子 (医療法人社団愛心会湘南鎌倉総合病院治験センター)
- 1P-40 SmartAmp 法による抗凝固薬ワルファリンの薬効に関する SNP 診断
渡辺 実 (聖マリアンナ医科大学薬理学教室)
- 1P-41 キサンチンオキシダーゼ活性の個人差に影響を及ぼす遺伝子多型
工藤 陸 (東北薬科大学薬物治療学教室)
- 1P-42 がん患者におけるオキシドンの有害作用と耐性形成に及ぼす CYP3A5, CYP2D6 および OPRM1 の遺伝子変異の影響
山本 圭祐 (浜松医科大学医学部附属病院薬剤部/静岡県立大学大学院薬学研究科臨床薬剤学)
- 1P-43 トリアゾラムの薬物動態及び薬効に及ぼす CYP3A5 遺伝子多型の影響
今井 浩光 (大分大学医学部臨床薬理学/大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター)
- 1P-44 ニコチン代謝酵素 CYP2A6 遺伝子多型のニコチン依存強度に与える影響
杉浦 知佳 (大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学分野)
- 1P-45 血小板機能評価法である VerifyNow によるクロピドグレル低反応性の検討
梅村 和夫 (浜松医科大学薬理学/同大学臨床研究管理センター)
- 1P-46 日本人小腸における薬物代謝酵素 CYP3A4 蛋白発現と遺伝子多型の影響
張本 敏江 (聖マリアンナ医科大学薬理学)

遺伝子多型-2 座長：山崎 浩史 (昭和薬科大学薬物動態学研究室)

- 1P-47 *CYP1A1* および *CYP2E1* 遺伝子多型と抗結核薬による肝障害との相関解析
馬渡 力 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬物治療学)
- 1P-48 NAT2 遺伝子多型に基づいた結核治療法の薬物動態学的検証
上村さやか (大阪大学大学院薬学研究科)

- 1P-49 タモキシフェン代謝における CYP2D6 バリエーション酵素の機能解析
作山佳奈子 (東北薬科大学薬物治療学教室)
- 1P-50 関節リウマチ治療薬メトトレキサートの効果・副作用予測のための薬理遺伝学的解析
加藤ともみ (熊本大学大学院薬学教育部臨床薬物動態学分野)
- 1P-51 関節型若年性特発性関節炎 (JIA) に対する methotrexate 療法による有効性と副作用に関する薬理遺伝学的検討
柳町 昌克 (横浜市立大学医学部小児科)
- 1P-52 関節リウマチ患者におけるタクロリムスとその代謝物の血中動態に及ぼす CYP3A5 の遺伝子変異の影響
青木 勇樹 (浜松医科大学医学部附属病院薬剤部/静岡県立大学大学院薬学研究科臨床薬剤学)

遺伝子多型-3 座長: 有吉 範高 (千葉大学医学部附属病院薬剤部・臨床試験部)

- 1P-53 *PIGF* は肺気腫の疾患感受性遺伝子である
上村 理紗 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
- 1P-54 日本人小腸における CYP2C19 遺伝子多型と mRNA・蛋白発現・活性の関係
林 幹人 (聖マリアンナ医科大学薬理学教室)
- 1P-55 PBC 進行と MRP2 遺伝子多型との相関解析
比嘉 辰伍 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬物治療学)
- 1P-56 Warfarin (WF) 維持投与量の個人差に対する CYP4F2 遺伝子多型の影響
川上 吉美 (大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学分野)
- 1P-57 抗うつ薬 SSRI の臨床効果に及ぼすセロトニントランスポーター遺伝子多型の影響
~La/Lg 多型を考慮した検討~
鉄尾 真司 (大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学)
- 1P-58 パニック障害の薬物治療反応性に対して, paroxetine 血中濃度, セロトニントランスポーター, セロトニン 1A 受容体遺伝子多型が与える影響
石黒 慎 (獨協医科大学精神神経医学講座)
- 1P-59 低分化な癌細胞の悪性形質を喪失させる miRNA 群の医薬応用を見据えた in vitro 検討
篠田 和香 (鳥取大学医学部病態解析医学講座薬物治療学分野)

薬物代謝 座長: 高田 寛治 (京都薬科大学薬物動態学教室)

- 1P-60 Meta-analysis of antidepressant pharmacogenetic findings in major depressive disorder
加藤 正樹 (関西医科大学精神神経科)
- 1P-61 ¹³C-ナプロキサン呼気試験による NSAIDs 潰瘍リスクの検討
小平 知世 (浜松医科大学第一内科)
- 1P-62 血中ランソプラゾールスルホン体測定による新たな CYP3A 活性評価法の有用性
木下 雄一 (聖マリアンナ医科大学臨床薬理学)
- 1P-63 ミダゾラム及びその代謝物の尿中排泄量を用いた CYP3A4 活性評価
内田 信也 (静岡県立大学薬学部実践薬学分野)
- 1P-64 甲状腺ホルモンがヒトの CYP3A 活性に及ぼす影響について
高橋 典男 (浜松医科大学医学部臨床薬理学講座/同大学医学部内科学第二講座)
- 1P-65 Angiotensin II による血管平滑筋細胞遊走に対する nifedipine 代謝物の影響
富永えりか (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部臨床薬剤学)

12月3日(木)

ポスター会場 (3F ラウンジ・311~314, 4F 414~417)

ポスターディスカッション 15:30~16:30

- 1P-66 爪白癬患者に対するイトラコナゾールパルス療法施行時のCYP3A活性の経時的変化
柴田 壮一 (北里研究所病院薬剤部)

バイオマーカー 座長：平野 俊彦 (東京薬科大学臨床薬理)

- 1P-67 近赤外時間分解分光法を用いた姿勢変化時および薬物治療介入時の脳血流評価の検討
竹内 和彦 (浜松医科大学臨床薬理学・臨床薬理内科)
- 1P-68 肝細胞癌の癌細胞増殖に対するIL-16産生の関与
武半 優子 (聖マリアンナ医科大学薬理学)
- 1P-69 スティーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の発症と関連するバイオマーカーの探索研究
頭金 正博 (国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部)
- 1P-70 健康成人、季節性並びに通年性アレルギー性鼻炎患者を対象とした鼻腔洗浄液中バイオマーカーの検討
前田 実花 (北里大学東病院治験管理センター/同病院薬剤部)
- 1P-71 脂肪酸ならびにリポ多糖体(LPS)によるヒト白血球内レニン-アンギオテンシン系の活性化
大田 聡子 (琉球大学医学部附属病院臨床研究支援センター)
- 1P-72 喫煙本数の違いによるたばこ煙中成分の生体内曝露量に関する検討
結城 大 (日本たばこ産業株式会社 R & D グループ)
- 1P-73 たばこ煙中成分の生体内曝露量評価のための指標に関する検討
宇山 研 (日本たばこ産業株式会社 R & D グループ)
- 1P-74 日本人健康成人を対象とした生理的インスリン、グルコースおよびC-ペプチドの24時間プロファイルの検討
佐々木富男 (ノボノルディスクファーマ株式会社開発本部)

代替治療 座長：大澤 友二 (昭和薬科大学医療薬学教育研究センター)

- 1P-75 健康食品と医薬品の併用に伴う有害事象の因果関係評価判定のための評価票の検討
加藤 竜維 (静岡県立大学大学院薬学研究科医薬品情報解析学講座)
- 1P-76 高脂血症発症モデルラットにおけるヘスペリジンの効果の検討
王 心慧 (鳥取大学医学部薬物治療学)
- 1P-77 6-gingerol と 6-shogaol によるラットの Aspirin 誘発胃潰瘍抑制効果の検討
王 中志 (鳥取大学医学部薬物治療学)
- 1P-78 漢方薬・中薬の診療ガイドラインにおける日中比較
張 夢耘 (東京大学薬学部薬科学科)
- 1P-79 カテキン高含有緑茶エキスはシンバスタチンの薬物動態に影響する
三坂 真元 (静岡県立大学薬学部薬物動態学)
- 1P-80 カテキン含有マスクによるインフルエンザ予防の検討
小菅 和仁 (静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学)
- 1P-81 茶カテキンおよび茶摂取が血中脂質へ及ぼす影響ランダム化比較試験を対象としたメタアナリシス研究
渡邊 崇之 (静岡県立大学大学院薬学研究科医薬品情報解析学講座)
- 1P-82 薬物代謝酵素 aldehyde oxidase 活性に及ぼす茶飲料水およびカテキン類の影響
田山 剛崇 (広島国際大学薬学部)

THUR

3